



ペン

2020年4月1日発行
(毎月1回1日発行)

カトリック谷山教会

891-0113
鹿児島市東谷山2-33-13
TEL 099-268-2084
FAX 099-284-5738

E-Mail: taniyama-cc@lagoon.ocn.ne.jp URL: <http://www5.ocn.ne.jp/~tycc/>

発行人: 頭島光神父 編集委員: 太田勇二郎 岸誠之助 上原敬子 上釜照美

「今、何が起きているか？」

今、コロナウィルスが人命と世界経済を脅かしています。この<四旬節>に入って、第3主日から公開ミサが中止となり、復活祭までも厳しい状況に置かれています。フランシスコ教皇様は、去る3月25日、「神のお告げ」の祝日に、コロナ終息を願って共に祈るよう呼びかけられました。今こそ、私たちは神に祈る時なのでしょう。今、何が起きているのか、冷静に見つめましょう。

◆命の福音

イエスが語る言葉は今日も変わることがありません。それは「いのちの福音」だということです。パパ様もそのことをたびたび強調されています。福音は、まず誰よりも貧しい人々に告げられる救いの言葉であると宣言しているからです。特に、コロナ感染者を

はじめ、高齢者や孤独な人、そして助けを最も必要とする人々のために祈りましょう。私たちは、今後、様々な仕方でこれらの人々のために奉仕されている多くの方々を励ましましょう。彼らこそ、「いのちの福音」の実践者だからです。

◆命を守る

教会は、いつでも常にすべての人の命を守るため、あらゆる脅威を前にして手をこまねいてはいません。何とかしてこれらの奉仕する人々を励ましつつ、ともにこの苦境を乗り越えようとしています。このような時だからこそ、引き籠るのでなく、かけがえの無い命の危機に瀕している兄弟姉妹のことを思い起こしましょう。そして、できるなら彼らを心より受け入れ、連帯し、世話することが何よりも大切なのです。

と繋がっているのです。考えてみれば、これまで私は独りで生きてきたというより、人々との関わり、またその交わり中で生きてきたのです。たとえ遠く離れた国の人々であっても、汗水流して働いてくれたことのおかげで、私たちは生計を立ててこられたのです。感謝しましょう。

◆闇から命へ

今こそ、私たちは闇から出て、神の命である、復活に向かって歩み始めます。決して、疑心暗鬼、自暴自棄になってはなりません。今よりももっと大変なことがたとえ起こったとしても、自己中心は捨てましょう。何が起ころうとも為すべきことを為すまでです。命の福音であるキリストを見つめましょう。その眼差しこそ、我らの見るべき方向だからです。

主任司祭 トマス 頭島光 神父

◆命に繋がる

私たちの周りを良く見渡してきましょう。そこには多くの人々がいて、その多くは苦しみ喘いでいます。彼らと何の関係もないように見えますが、実に私たちは命で繋がっているのです。教皇様は「あらゆる命は繋がっている」と言っています。つまり、私の命も誰か

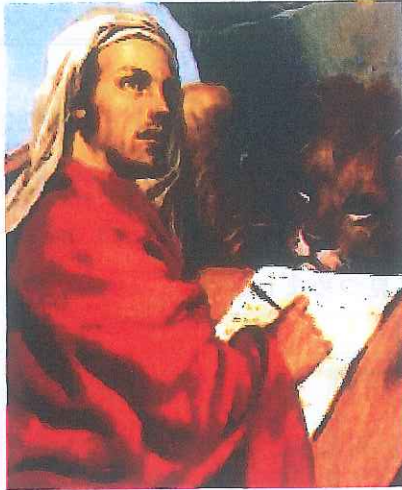
聖マルコ福音史家 4月25日

使徒行録(12・6-18)によれば、ヘロデ・アグリッパ王の迫害に捕らわれて投獄された聖ペトロはある夜二位の天使の力で不思議に牢から救い出されて後、マルコと呼ばれるヨハネの母マリアの家に至り、追っ手を逃れる為に更にローマに向けて出発したとあるが、ここにマルコと呼ばれているヨハネこそ、福音史家として名高い聖マルコに他ならない。聖ペトロ、聖パウロがそれぞれシモン、サウロというユダヤ名を持っていたように、聖マルコもユダヤ風にはヨハネと呼ばれていたのである。

彼の母マリアに就いては之も聖書に、エルサレムの新信者は主に彼女の家に集まって祈りやミサ聖祭拝聴を行ったように記してあるから、恐らく広い邸をもつ裕福な寡婦で、かつ熱心な信者であったのであろう。そうとすればその息子ヨハネ・マルコが母の立派な鑑としつけに依って、同様敬虔篤信の心を持ち合わせた青年であったことも想像するに難くないのである。

古来の伝説によれば、マルコとその母マリアとは、聖霊降臨の日にペトロの受洗した三千人の信者中に加わっていたという。ペトロは彼マルコを殊の外愛していた。それはこの大使徒が小アジアの信徒に送った書簡の末尾に彼を「我が子」と呼んでいることによっても知れよう。また実際マルコはその使徒的精神の盛んな点においても聖ペトロの子と呼ばれる値打ちがあった。最初彼は聖バルナバと共に聖パウロに従い第一回伝道旅行の途に上ったが、道半ばにしてある事情の為にエルサレムに引き返し、やがて再びバルナバとクプロ島に赴き主の福音をのべ伝えた。その後マルコはローマに行き、聖ペトロをたすけて教会の発展に力を尽くした。彼が信者の希望に従い、ペトロの説教を材料として、あの簡潔にして力強い筆致の聖福音書を著したのは、実にその頃のことである。主の公生活三年の間、朝に夕にその御傍にあり、親しく聖い御感化、御薫陶を受けた聖ペトロの、愛する主を偲び奉る物語は、マルコの素朴な筆を通して今も読者にその御一挙御一動を目に見る如く感ぜしめずにはおかない。この書こそは聖会史上世の終わりまでも不朽の光を放つ大金字塔の一つで、筆者マルコの功績も永久に燦として輝くのである。

彼はネロ皇帝の迫害でペトロ・パウロ両大使徒が殉教して後、ローマを去ってエジプトのアレクサンドリアに行き、そこの司教として、恩師ペトロの精神にのっとり人々を導き、よく教



勢を隆盛ならしめたが、その内に彼も同じく自分の血を以て聖なる信仰を証せねばならなくなつた。すなわち彼がその地に赴任後僅か十年ばかりして、やはりキリスト教に対する迫害が起こった時、異教徒は彼を捕らえて首に縄をかけ、荒々しく町中を引き回し遂に惨殺してしまつたのである。この殉教の最期も聖ペトロの子たるにふさわしく、今も二聖は天国に於いて永福を共に頌つていられることであろう。

聖マルコの遺骸は後にイタリアの水の都ヴェネチア市に移され、その名も高い聖マルコ大聖堂に今なお保存されている。

レジオマリエ鹿児島コミチウムは3月15日カテドラルに於いて、2020年度「アチエス」(毎年刷新する聖母への奉献式)を開催いたしました。

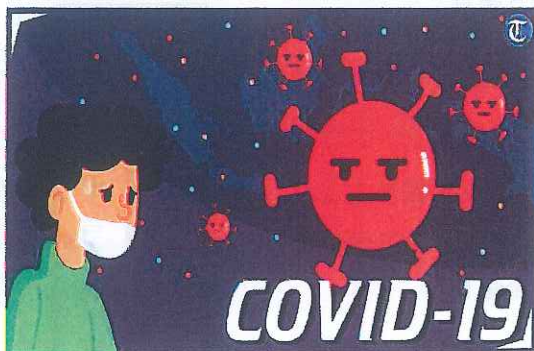
「レジオマリエ」(ラテン語で「マリアの軍団」)は、カトリック教会の承認を受けた活動グループで、武器の代わりに、聖霊の導きと神のみ言葉によって愛に満ちた奉仕をマリア様と一致して行います。司祭の指導のもと、絶えずマリア様の取次を願いながら、マリア様の生き方に倣い一致して、人々への奉仕に生きることができるよう教会のパン種として活動しています。

今年も、中野司教様もご参加くださりご講話、聖体賛美の司式に与かりました。「マリアの軍団の皆様への感謝・・・」とのお言葉をいただき、会員一同、感謝の内にレジオマリエの精神を新たにする機会となりました。コロナウイルス騒動のさ中の開催でしたが、無事終了することができました。

「賢明になって、パニックにならないで、警戒を怠らないで。」

今、世界中でコロナウイルスがますます拡大し続けています。これは私たちの思考や感情を揺さぶるだけでなく、私たちの信仰も揺さぶりをかけられていると思いませんか。私たちは、コロナウイルスを終息させるためにさまざまな努力をして、忙しい中、どの国々も「戦い」の状況に置かれています。これは、誇張ではなく、非常に深刻な問題です。この現実立ち向かう時、私たちは信者として、正しく立ち向かっていますか？これらの戦いに対して知恵ある答えを出すことができますか？私たちは神様の子供として、人生を、自由を持って、喜んで生き続けていますか？

皆さん、全世界で、この事実を目の当たりにして、信仰を誤って解釈している人がいます。「神は信者がこのコロナウイルスのために滅亡することを許されませんから、ただ神を信頼しなさい、すべてが安全になるようにしてくださいませ」とか「結局のところ、私たちの生と死を支配してくださる神がいらっしゃるのですから。」という仮定をして、ある信者は秩序だった生活を維持すること、自己規律と自己抑制を忘



れ、また、予期的ステップに従うことをも忘れてしまいます。このような信者は、恐れることなく、モールや遊園地で密集し、混雑し、パーティーやダンスをしたり、自由に集まって楽しんでいます。其上、この試練の最中に、人間的には考えられない、「色々の利益追求者」として行動する人々もいます。たとえば、マスクの価格はうなぎのぼりで、非常に高価で販売されているのです。

皆さん、私たちは成熟した信仰のプロセスの中で成長しています。もちろん、それは囲まれた空間に制限されない知恵と密接に関連している必要があると思います。私たち

の信仰は無知や愚かさの中で成長していません。私たちは信者として、教会が一時的に閉鎖されていても、ミサの活動が一時的に中止されていても、神様の子供としての人生を、自由を持って、喜んで生きることを続けています。しかし、最も重要なことは、

私たちは神様を忘れないことです。私たちの心は神様の臨在に開かれたままであり、神様は私たちの人生のあらゆる出来事の中で働き続けておられると常に信じているのです。

皆さん、今は賢明で、成熟した信者として、胸を張って、姿勢を高く保ち、厳粛な祈りの中で私たちの心を一致させ、お互いに警戒を怠らず、秩序ある生活、自己規律、および自己抑制を維持する時です。警戒を怠らず、秩序ある生活、自己規律、自己抑制を維持し、政府が推奨するあらゆる政策ステップに従って、よく考え、すべての共通の利益のために共に生活する責任があります。この新型コロナウイルスの終息のために心を合わせて祈り求めましょう。

ドンボスコ 神父

令和二年 谷山教会 4月の予定と祝日表 (4/1~4/30) 西暦2020年

日時	典 礼 と 行 事	朗読奉仕	掃除	班会等
4月1日 (水)	18:30 典礼委員会 19:00 水曜ミサ			
2日 (木)	6:30 朝ミサ			
3日 (金)	19:00 初金ミサ 19:30 十字架の道行き			
4日 (土)	(10:00 ひまわり幼稚園入園式) 19:00 受難の主日のミサ		⑩	⑩掃除後教会
5日 (日)	9:00 受難の主日(枝の主日) 聖週間~ 世界青年の日	⑩		
6日 (月)	受難の月曜日 6:30 朝ミサ 14:00 司祭評議会			
7日 (火)	受難の火曜日 6:30 朝ミサ			
8日 (水)	19:00 受難の水曜日 ミサ後 求道者勉強会III-14			
9日 (木)	19:00 聖木曜日(主の晩餐) 主の晩餐のミサ			
10日 (金)	19:00 聖金曜日(主の受難)大斎・小斎 聖地のための献金 主の受難礼拝			
11日 (土)	19:00 聖土曜日 復活徹夜祭ミサ・洗礼式		①	①掃除後教会
12日 (日)	10:00 祭日 復活の主日	①		
13日 (月)	6:30 復活の月曜日 朝ミサ			
14日 (火)	6:30 復活の火曜日 朝ミサ			
15日 (水)	19:00 復活の水曜日 水曜ミサ			
16日 (木)	6:30 復活の木曜日 朝ミサ			
17日 (金)	6:30 復活の金曜日 朝ミサ			
18日 (土)	19:00 復活の土曜日 復活節第2主日のミサ		②③	②③掃除後教会
19日 (日)	6:30&9:00 復活節第2主日(神のいつくしみの主日)のミサ ミサ後 司牧評議会	②③		
20日 (月)	6:30 朝ミサ			
21日 (火)	6:30 朝ミサ			
22日 (水)	19:00 水曜ミサ ミサ後 求道者勉強会III-15			
23日 (木)	6:30 朝ミサ			
24日 (金)	6:30 朝ミサ			
25日 (土)	19:00 祝 聖マルコ福音記者 復活節第3主日のミサ		④	④掃除後教会
26日 (日)	6:30&9:00 復活節第3主日	④		
27日 (月)	6:30 朝ミサ			
28日 (火)	6:30 朝ミサ			
29日 (水)	19:00 水曜ミサ			
30日 (木)	6:30 朝ミサ			

奉納は掃除当番班が行う
四月の行事当番は一班

ロザリオの祈り	[毎週(火) 10:00]	7日、14日、21日、28日
レジオ・マリエ	[毎週(水) 14:00]	1日、8日、15日、22日、29日
聖書と教理-I	[毎週(木) 15:00~16:30]	2日、9日、16日、23日、30日 9日、16日、23日、30日
聖体礼拝	[毎週(木) 13:30~14:30]	(2日はサビエルで7:00)
聖書と教理-II	[毎週(金) 9:00~10:00]	3日、10日、17日、24日